

会 議 録

会 議 の 名 称	平成 2 6 年度 第 3 回豊中市市有施設有効活用委員会		
開 催 日 時	平成 2 6 年（2 0 1 4 年）1 0 月 2 2 日（水） 1 4 時～1 5 時 3 0 分		
開 催 場 所	議会棟 2 階 大会議室	公 開 の 可 否	☒ 可・不可・一部不可
事 務 局	資産活用部 施設活用推進室	傍 聴 者 数	4 人
公開しなかつ た理由			
出席者	委 員	○市有施設有効活用委員会委員 5 名 伊丹康二委員、佐野こずえ委員、新藤晴臣委員、廣瀬史朗委員、吉野忠男委員 （五十音順）	
	事 務 局	○資産活用部 施設活用推進室 福田部長、甫立次長、國司主幹、牛尾副主幹、芦田、次郎坊 ○財務部 財政室 田上室長	
	そ の 他		
議 題	1. 豊中市における市有施設の戦略的配置について 2. その他		
審議等の概要 （主な発言要旨）	別紙のとおり		

審議等の概要（主な発言要旨）

案 件 1

豊中市における市有施設の戦略的配置について

- ・資料 豊中市における市有施設の戦略的配置について(中間取りまとめ案)

事務局より資料説明

(委員長) 資料において、意見を述べたい。3 頁にある「今回の諮問のねらい」が一文で長すぎるので、途中で切った方がよい。

5 頁の①施設総量の「イメージ」とあるが、8 頁 4 行目の「イメージ」と違う意味を持たせるのであれば、表現を変えた方がよい。

5 頁「老朽化した施設を除却した場合、その跡地に再度公共施設をと望まれることが多い。そうすると、持続可能な行財政運営はできなくなる。」とあるが、できなくなる、というのは言い過ぎの感がある。表現を工夫してほしい。

7 頁下方「2 箇所の地域連携多機能拠点(コラボ)以外に、どの場所にどのような拠点を構想すればよいかは、拠点のコンセプトと地域特性、施設相互の親和性の組み合わせで考えていくべきである。」の文章で「親和性」とあるが、「補完性」の方がよいのではないか。親和性という言葉を使うならば、その意味を説明した方がよい。

8 頁(5)①「過去数十年は新たに施設を整備する必要のあった時代で、この先数十年は新規の整備を最低限に抑えて既存施設を再編する時代である」とあるが、文章が弱いので「再編しなければならない。」と踏み込んだ表現で良いのではないか。また、「長いスパンで考えるものである。」とあるが、「考える必要がある」の方がよい。

9 頁中あたりで「廃止に伴う」とあるが、「廃止にともなう」とひらがなの方がよい。

10 頁の表「施設総量等を踏まえた既存機能配置の見直し視点」の項目中「総合的に勘案する」を「総合的に勘案」と体言止めにしてほしい。

(委員) 4 頁の上方で一文字空いている箇所を訂正してほしい。5 頁目の(3)①施設総量の項目で一行空いている箇所があるが、意図的なのか。

(事務局) 1 段落目は施設総量の設定の必要性、2 段落目には施設総量の設定をするが目標ではないということ、3 段落目には施設総量の算出方法等、4 段落目には耐用年数について書いているので、意図的に空けている。

(委員) 5 頁の①施設総量の項目で、「施設総量削減が市有施設再編の目的ではない」とあるが、目的ではない、というのは言い過ぎである。施設総量の削減そのものが目的ではないが、「施設総量削減は市有施設再編の 1 つの目的に過ぎない」といった表現の方がいいのではないか。

ランニングコストの定義を教えてください。

7 頁の①「機能集約・拠点創造」という項目があるが、「創造」という言葉は仰々しすぎるので、「拠点整備」「拠点づくり」「拠点化」といった表現がいいのではないか。

(事務局) 合併した市町村なら削減が第一目標かもしれないが、豊中市はそうではないという意味である。しかしながら、施設総量削減が目的ではないと言い切ると、施設総量設定の必要がなくなるので、「1 つの目的に過ぎない」と変えたい。ランニングコス

トの考え方は施設の経常的な維持管理経費であり、空調や光熱水費である。大規模修繕などの投資的な経費については更新費用に入れるべきだという考え方である。

「拠点創造」の文言はこれにかわる表現を検討したい。

(委員長) この中間取りまとめ案の前半は委員会が何を議論してきたかということになる。

施設の老朽化やコスト面だけから考えると、施設を改修または廃止というような極論になる。そうならないように、市民にとって使いやすい施設になるように発展性のある議論をしてきた。予算不足で施設を廃止すればよいということではなく、必要な施設であるので多少の予算を掛けてでも市民に使用してもらうという切り口も残しておかなければいけない。表現としては「財政負担を考慮して」とあるように考慮という言葉は深い意味で使ってほしい。単純に廃止するのではなく、施設のハードも機能もまだまだ可能性があるという流れを示せる文脈を意識してほしい。

(委員) 5頁の施設総量の項目で「ランニングコストの維持補修費」の具体的な内容はなにか。

(事務局) 「ランニングコストの維持補修費」は光熱水費など日常的な経費であり、事業の講師謝礼金、人件費や消耗品以外の施設に係る経費である。施設の価値を高める外壁工事や大規模修繕ではないものである。

(委員) ということは維持費のみで、補修費は入っていないので、維持補修費という表現は適当ではないのではないかな。

(事務局) ランニングコストとは、軽微な修理や光熱水費、物品購入などである。管理運営費は事業の企画費が含まれる。維持補修費は誤解を招く表現であるので変更する。

(委員) 10頁の「機能類型ごとの配置パターン(参考例)」の表で「具体的な施設の例」が挙げられているが、従来の分類のように市民視点の分類と具体的施設の例とが一对一对応してしまっているようで、この表では従来型で整理してしまっているように受け取られてしまうおそれがある。複数の市民視点レベルにまたがる具体的施設もあるのではないかな。また、④「頻度は高くないが起り得る事態に備えがある」とあるが、これは例えば災害時の避難も想定されているのか。そうすると徒歩圏ということになるのではないかな。

(事務局) 具体的な施設例を書くことで、従来型で整理してしまっていると誤解されないかという点については、表の表現方法を変えればよいのではないかな。また、枠外の注釈にも「機能類型と従来の施設類型が一对一对応で完全に整理できるものではない。」とあるのでその部分で理解してほしい。

(委員) 具体的な施設の例を思い浮かべて市民視点を書いているので、整合性がとれていない場合がある。市民視点から考えるという方向性をそろえて行けば、整合をはかることが出来る。具体的施設の例にとらわれない方がよい。施設例の学校施設を①「生活の基盤が確立している」だけでなく、④「頻度は高くないが起り得る事態に備えがある」に入れるなど、複数の類型にまたがっていてもよいのではないかな。この表は一番肝心なところになるので、引っかかるところがあると、問題がある。この表はもう少し検討してもよいのではないかな。

(事務局) これは中間とりまとめの参考例であるので、委員の意見は最終答申に向けてより精査していくということでどうか。

(委員) 指摘のあった個所は考慮し、さらにブラッシュアップした資料にしていきたい。

(委員長) この表は機能類型ごとの配置パターンであるが、機能類型を示している列がない。

市民視点ごとの配置パターンという見出しにする等の方が良い。また、①「毎日の生活の全部または一部を過ごす」④「必要なときに頼る」は時間や頻度であって、機能ではない。改めた方がよい。

(事務局) 一番左が「機能類型（市民視点）」という認識である。二番目の「利用のあり方による機能類型」は「利用頻度」等に改めた方がよいかもしれない。

(委員) 8頁中あたり「老朽化により更新時期を迎える都度、またある施設が今日的な役割を終えたと判断された都度、それらの機会をチャンスととらえて検討する」とあるが、廃止等のタイミングが来てから考えるようなイメージにも読めてしまう。特定施設となってから考えるのでは遅すぎるので、検討せずに売却になってしまう可能性がある。資産活用部としては事前に予測することが必要になってくるので、「データベースなどをもとに、更新時期が近付いているものに対して検討をすすめていく」といったような表現が必要ではないか。

(事務局) ここの趣旨は、老朽化するまで何もしないという意味ではなく、施設総量やロードマップやデータベースを使いつつ、長期的なビジョンを持ちながら施設の更新や廃止を実現し、市民に理解されやすいタイミングとして老朽化や役割を終えた時期として表現しているが、そういった意図が伝わる表現に変えたい。

(事務局) 事務局として、スピーディに物事を進めなければいけないが、タイミングも大事である。行政はスピード感に欠けると言われがちであるが、不動産であるから、どのタイミングで理想の形に近づけるかという意味で、パズルのようだとか少し時間が必要であると書いている。しかし、ここの表現は更新時期がきてから考えるような書き方である。事前に検討しておくべきことなので、一定の目途を示すよう、表現を工夫したい。

(委員長) 豊中市は柔軟かつ迅速に対応しているとは思いますが、このような表現だとじっくり考えてから対応しているように思われるので、表現を工夫してほしい。また、最後の「最終答申に向けて」は箇条書きの方がよいのではないか。

今日の意見を事務局で整理、修正したものは委員長に一任でよろしいか。最終答申に向けて、どのようなことが考えられるのか、委員のアドバイス、ヒントを出してほしい。

案 件 2

その他

特になし。

以上